社会医療法人北楡会 札幌北楡病院 広報誌

エルム

vol.72
発行日：令和４年９月１日

編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会　責任者／太田　秀一

HOKUYU INFORMATION

ご挨拶

令和4年4月に副院長を拝命いたしました。医療を取り巻く環境は厳しく診療報酬の低下やジェネリック医薬品の導入など働きにくくなってきております。ジェネリック医薬品の導入では、今までの薬が聞いたこともない名前に変わってしまっているため、外来でも本を開かねばならないことが多々あります。その影響で本来の先発薬が販売中止になることも多くあります。その後、売れなくなるとジェネリックの薬が簡単に販売中止となります。さらに最近はジェネリックとは関係なく長く使っていた薬が一方的に販売中止になることが多く、現場では困惑が広がっております。薬品メーカーの体力が落ちているせいか、使命感がなくなってきているように感じます。医療費を削減しなければならないという国の方針は理解できるものの、なかなか大変な現状です。

小児を取り巻く環境はさらに厳しく、そもそも少子化で患者減少が続いております。コロナ禍でその傾向に拍車がかかり、小児科を閉鎖する病院が増えていると聞いております。また、入院となってもきょうだいをみてくれる人がいないということが以前より増加してきております。また、長期入院患児に対する学習のサポートなど問題は山積みです。しかしながら知恵を絞って、患者さん、その家族、さらには医療スタッフに対するやさしい医療を考えていきたいと思います。小児医療の特徴は'やさしい医療'がメインであると自負しております。新病院建設に向けて環境整備に努めてまいりたいと思います。

副院長　小林　良二

◆特集

新任医師のご紹介

◆腎臓病教室　開催報告

◆医療連携室のご紹介

札幌北楡病院　基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。

新任医師のご紹介

緩和ケア内科

中田　匡信　医師

みなさん、こんにちは。この度、緩和ケア内科に赴任した中田匡信です。

私は1990年に北海道大学を卒業しました。私は医師としてのキャリアのほとんどを血液内科医として過ごしてきて、2006年から2015年までは北楡病院の血液内科にも勤務していました。

血液内科という分野は、診療する患者さんの約９割が血液がん患者さんというがん医療の世界です。血液がんの治療は進歩が著しく、抗がん剤を中心とした治療によって延命や完治ができる人たちもいるのですが、一方で残念ながら治療が効かず病気が進行してお別れを迎えていく人たちもたくさんいる分野です。全てのがん治療医がそうだと思いますが、血液内科医も、延命や完治を目指して患者さんと歩む一方で、お別れを迎える患者さんとも歩むことになります。そのような分野で働きながら徐々に思うようになったのは、どちらとの歩みも大切なことなのに、我々医師は、病気を良くしたいという使命感からか両者を医学的に明と暗、光と影のように捉えがちで、原疾患の治療に偏重しがちではないかという自省でした。誰しもいずれは終える人生なのだから、治療方法がなくなった患者さんの残された時間にも光を当てて、安息して有意義に過ごしてもらうことに医療者としてもっと力を注ぐべきではないかということでした。

そういうことで自分の中に緩和医療への興味というか義務感みたいなものが芽生えてきて、北楡病院に在職していた時に緩和ケア病棟の立ち上げ計画にも麻酔科の沼澤先生と共に少し関わった経緯があります。

その後私は静岡県浜松市の聖隷浜松病院血液内科からのお誘いがあり、南棟の緩和ケア病棟の完成を見ることなく北楡病院を離れることになったのですが、今回改めて、北楡病院で緩和ケア医療に専念したいと思い、沼澤先生、目黒院長にご相談申し上げたところ、暖かく歓迎していただいた次第です。

まずは緩和ケア病棟の円滑な運営と緩和医療の実施に専念しますが、もちろん緩和医療は終末期患者だけを対象にしたものではありません。将来的には他の病棟に入院中の患者さんの苦痛を和らげることにも寄与できれば、と考えています。

よろしくお願いいたします。

腎臓病教室開催報告

日本の慢性腎臓病患者は1300万人以上といわれておりますが、その内訳は、ごく早期のタンパク尿・血尿のみの方から、末期腎不全として透析・移植治療を要する方まで幅広くなっております。

腎炎には原疾患により完治できたり進行を遅らせることが可能なものもあり、早期発見早期治療を行う事がとても重要です。また慢性腎臓病には食事療法や血圧管理、糖尿病管理、禁煙など生活習慣の改善もとても大事になります。

しかし中には進行を抑えられず、移植や血液透析・腹膜透析などの腎代替療法が必要となる患者様もおります。当院ではその全ての治療法に対する十分な説明を行い、どの治療法がその患者様に最も適しているかを一緒に相談させていただき、選択をしていただいております。患者様がどの治療法による腎代替療法を選ばれても、安全に、当たり前に、十分なレベルでご提供をできるように多くの診療科の医師、看護師や移植コーディネーター、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーション、ソーシャルワーカーなどの多職種が連携しております。

慢性腎臓病をひろく知っていただき、ただしい対処、生活習慣の改善、治療を行っていただくために、当院では2022.3月より腎臓病の患者さんとその家族に向けて、ホームページ上に腎臓病教室を公開しております。腎臓を専門とする医師、看護師、移植コーディネーター、栄養士、薬剤師、リハビリテーションスタッフ、ソーシャルワーカーなどが、腎臓病の進行、悪化を予防するための食事・運動・薬物療法をはじめ、腎臓病の治療を開始したあとの療養生活や腎代替療法（血液透析・腹膜透析・腎移植・在宅血液透析・オーバーナイト透析）についても解りやすく説明します。

当院に通院中の患者様も、通院されていない方も、どなたでも視聴可能です。

どうぞ、お気軽にアクセスをお願いいたします。

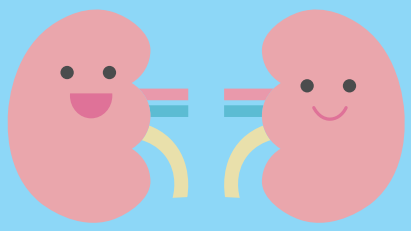
パソコンからでも
スマホからでも
気軽にアクセス！

https://www.hokuyu-aoth.org/about/post_14.html

講演内容について

動画公開中

第1回『腎臓病とは？』　腎臓内科医師　吉原真由美
第2回『減塩のコツ』　管理栄養士　佐々木宏美



これから公開予定

第3回『運動療法について～腎臓リハビリテーションガイドラインに基づいて～』
リハビリ技師長（理学療法士）　松浦 芳和

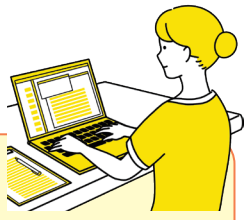
特集

病院紹介シリーズ

医療連携室のご紹介

《医療連携室》

当院は「医療連携室」を設置しています。
医療ソーシャルワーカーと事務員で構成されています。
自分自身やご家族の方が病気になった時、健康な時には思いもよらないような心配事が生じる場合があります。そんな時に相談して頂く場所が「医療連携室」です。



主な役割として

1. 事務員を中心に、転院で入院予約の窓口・他院の外来受診等の前方連携業務
   予約入院、緊急入院の病棟選択をして病棟管理者と調整する業務
2. 医療ソーシャルワーカーが中心に、自宅やその他への退院後の調整を担う後方連携業務
   と地域へ向けての活動
3. 患者サポート相談窓口業務・がん相談支援センター業務

「東棟３階 エレベーター向かい」に入口があります。
個室相談室もあり、ご相談がありましたら、直接こちらにお越しいただくか、お電話でも対応しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

《医療ソーシャルワーカー》

医療ソーシャルワーカー（MSW）は現在７名で相談支援業務を行っています。
病院において、患者さんやご家族の抱える、経済的、心理的、社会的問題の解決、調整をし、より良い生活となるよう様々な方法で支援をしています。
また、「患者サポート体制窓口」の担当と「がん相談支援センター」の担当を行っており、院内・院外のさまざまな相談を受けています。

①社会的・経済的・心理的な支援

相談内容に応じて、利用できる社会制度を検討・案内し、必要な社会資源へとつなげていきます。

◆治療費や生活費の不安への対応
◆各種保険、福祉制度、各助成制度案内
◆関係機関との連絡調整　など…

②受診・受療の援助

通院手段に支援が必要な方や、様々な要件に合う受診先を検討する必要性がある方に行います。

③退院支援（自宅・入所・転院　等）

入院された患者さんに対して行います。自宅でも、自宅以外でも、その人らしく生きることを目標に退院先に合わせて、支援や調整しています。

④がん相談支援センターの活動

がんサロン活動は現在中止しており、活動内容は、がん全般にまつわる情報収集、情報提供、その周知を行っています。ウィッグの相談も随時行っています。個別相談や緩和病棟への相談も承っています。

⑤地域活動

地域の医療機関はもとより、区役所や市町村、学校や職場を含め、患者さんの個別支援だけではなく、住みよい地域つくりを視野に入れ連携活動しています。

今年度は、９月30日と10月22日に勇美記念財団の助成を受け、太田秀一副院長を大会長とし、血液内科疾患の研修会を主催しました。詳しくはポスターをご覧ください。

《事務・入退院調整部門》

事務部門は、３名の職員が従事しています。

①前方連携業務

院内や他院からの予約入院決定の連絡を受けたのち、細かい時間や情報等を打合せたり情報交換したりします。

また、当院からの転院も転院先の病院とのやりとりの窓口となり、病院間で滞りなく入院・退院・受診ができるように連携をとります。

患者さんに必要な書類はたくさんありますが、その一部を取り扱っています。

外来からの依頼で、初めて当院に入院予定の方に対し、入院の一般的なオリエンテーションをします。

②入退院調整業務

院内のベッドを有効に利用するために必要な情報を院内へ発信しています。

入院者・退院者・空床数の情報を把握し、患者さんの情報を医師や病棟・外来に伝えます。

毎日16時から看護部に情報を伝え、翌日の患者さんの入院病棟を決定します。

その時に、夜間の入院に備え入院可能なベッドを確認します。

《おわりに》

医療連携室は、院内・院外の様々なところと連携する部署です。親切・丁寧・迅速を心がけて対応して参りますので、よろしくお願いいたします。

外来診察担当一覧

午前　午後

（令和４年８月１日現在）

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科 血液内科 緩和ケア内科	太田 小笠原(正) 小笠原(励) 小島	小林 今村 日高	小林 今村 杉田 長井	岡田 杉村 長井 中田 【SO外来】 小林 (15:00～16:00) (完全予約制)	小林 小笠原(正) 岡田 横山	太田 今村 横山	太田 小林 日高 荒	杉田 三木 荒	小林 小笠原(正) 岡田 杉田	今村 小笠原(励) 野津 中田	交替医師
消化器内科 (予約診療)	片桐 佐賀 (新患受入可)	中村	佐賀 梅村 (新患受入可)	高野	松田 片桐 (新患受入可)	高野 【肝専門外来】 須田 (13:30～14:30)	高野	片桐	片桐	佐賀	
糖尿病代謝内科					※1澤村		※1澤村		澤村		
循環器内科					交替医師		交替医師				
外科	米川 (隔週) 後藤	目黒	服部 (隔週) 杉山	佐藤/杉山 (隔週交代) 久木田	目黒 服部	堀江 【フットケア外来】 (13:30～16:00) (完全予約制)	堀江 高橋	高橋	久木田 佐藤	堀江 佐藤 (隔週)	交替医師
血管外科	熱田(隔週)										
肛門外科	小野寺		山内		宮下		小野寺		山内		交替医師
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30～) (予約診療) 東山(午前のみ予約診療)				東山 (予約診療)		三浦(9:30～) (予約診療)	東山	東山 (予約診療)		
腎臓内科	吉原				吉原		吉原				
整形外科	東 高橋		東 大野		高橋		東 大野		高橋 大野 (11:00まで)		
小児 思春期科	小林(良)	堀	佐野	堀 【アレルギー外来】 小林(邦)	柳	大島 佐野	【血液外来】 小林(良) (完全予約制)		松島 小林(良)	柳 【血液外来】 ※2小林(良) (完全予約制)	交替医師
スリープ外来			高橋								
ペインクリニック・麻酔科外来 (完全予約制)					沼澤						
禁煙外来 (完全予約制)		三浦									
歯科 (完全予約制)	加藤／高橋		加藤／高橋／大畑		加藤／高橋		加藤／高橋／北大医師		加藤／高橋		

※１　糖尿病代謝内科：第3水曜日・第3木曜日は休診となります。ご注意ください。
※２　金曜日午後の小児思春期科小林良二医師は「長期フォローアップ外来」「セカンドオピニオン外来」も併せて担当しております。
◇　都合により代診・休診となる場合がございますので事前にご確認をお願いします。

外来予約電話受付
【平日のみ】午前９時00分～ 12時00分／午後13時30分～ 16時00分
予約専用電話　TEL 011-865-0201

歯科予約
【月・火・木・金】午前９時00分～ 11時30分／午後13時30分～ 16時30分
【水・土】　午前９時00分～ 11時30分
TEL 011-865-8800(歯科直通)

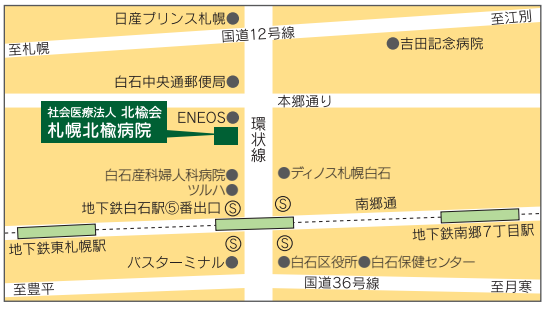
編集後記

2022年も早いもので、もう9月ですね。夏が終わり、秋に近づいてきました。今年の夏は久しぶりの花火大会やお祭りの開催で少し気持ちも舞い上がったのではないでしょうか？まだまだ感染症対策は必須ですが、ウィズコロナの生活で気持ちがやられないよう、リフレッシュしながら頑張りましょう。(K・Y)

社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院

診療科目
外科・消化器外科・血管外科・肛門外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住　所　札幌市白石区東札幌６条６丁目５番１号
TEL：(011) 865−0111　FAX：(011) 865−9634

交　通　地下鉄白石駅５番出口から環状通り　北の方へ徒歩５分左手

ホームページ　https://www.hokuyu-aoth.org/